

第 37 回電波功績賞表彰式を開催

6月25日（木）、第16回定時総会に引き続き、第37回電波功績賞表彰式を開催しました。当会の吉田会長の挨拶に続き、林総務大臣からご祝辞を頂戴し、電波功績賞選考委員会の高畑委員長より選考結果をご報告いただきました。続いて、林総務大臣から総務大臣表彰が授与され、吉田会長から一般社団法人電波産業会会長表彰が贈呈されました。

その後、受賞者を代表して佐藤氏(KDDI株式会社執行役員コア技術統括本部ネットワーク開発本部長)よりご挨拶がありました。



電波功績賞表彰式終了後の記念撮影

（左側より） 総務省 翁長氏、総務省 湯本氏、KDDI 佐藤氏、京セラ 塙氏、高畑選考委員長、
林総務大臣、吉田会長、古野電気 小和田氏、NTT 小川氏 総務省 今川氏

1. 総務大臣表彰

(1) 「ミリ波エリアを飛躍的に拡大する無線中継技術の開発と実用化」

KDDI 株式会社 ミリ波中継技術開発プロジェクトチーム

代表 佐藤 達生 殿 (KDDI 株式会社 執行役員 コア技術統括本部
ネットワーク開発本部長)

京セラ株式会社

代表 塙 英治 殿 (京セラ株式会社 無線ネットワーク開発統括部 統括部長)

高速・大容量通信に適するミリ波のエリア形成に伴う課題を克服するため、中継器に備えた複数のアンテナのドナー面とサービス面を切り替えて最適な中継ルートを選択する自律的なエリア形成技術を世界で初めて開発し、小型軽量な中継器を都市インフラへ展開することでミリ波エリアを飛躍的に拡大させ、安定した高速通信環境の実用化に寄与するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。

2. 一般社団法人電波産業会会長表彰

(1) 「スプーフィング対策機能を備えた GNSS 受信装置の開発」

古野電気株式会社

代表 小和田 真也 殿 (古野電気株式会社 システム機器事業部 開発部 開発 2 課
主任技師)

受信機内部に保持する正確な時刻情報を基盤として各 GNSS 信号の受信時刻を予測し、乖離する信号をスプーフィングとして峻別・排除する受信装置を開発し、測位分野に加え 5G 基地局や放送局の基準時刻供給の確実性向上に寄与するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。

(2) 「マルチ無線統合制御技術の確立およびパッケージ開発による高信頼な産業用無線の新市場創出への貢献」

NTT 株式会社

代表 小川 智明 殿 (NTT 株式会社 アクセスサービスシステム研究所
主幹研究員)

ローカル 5G、無線 LAN、公衆セルラ等の複数無線システムを組み合わせ、予測・推定を活用して統合的に制御する技術群を開発し、安定性に優れた高信頼な無線アクセスを実現すると共に、産業用途に実装可能な統合ソフトウェアとして提供し、高信頼無線を必要とする複数の先進的ユースケースに適用して無線ビジネス市場の拡大に寄与するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。



表彰式における
吉田会長の挨拶



表彰式における
林総務大臣のご祝辞



表彰式における
高畑選考委員長のご報告



受賞者を代表して
佐藤氏のご挨拶